令和５年度第４回狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会会議録

１　日　時　　令和６年２月27日（火）　午後７時～７時45分

２　場　所　　市防災センター３階 302会議室

３　出席者　　委 員 長　渡辺　秀貴　（学識経験者）
　　　　　　　副委員長　常盤　豊　　（学職経験者）
　　　　　　　委　　員　惣川　ひさえ（市民委員）
　　　　　　　委　　員　氏家　嘉代　（市民委員）
　　事務局　　植木　崇晴　（学校教育課長）
　　　　　　　鈴木　知子　（学校教育課教育庶務係長）
　　　　　　　藤田　真衣　（学校教育課教育庶務係）
　　　　　　　三角　紳太郎（学校教育課教育庶務係）

４　欠席者　　なし

５　傍聴者　　なし

６　議　事

（１）令和５年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会答申について

（２）その他

７　会議概要

委員長　　これより、令和５年度第４回教育委員会自己点検及び評価に関する審査委員会を開催する。

　　まずは事務局から、本日の資料の確認をお願いする。

（事務局より資料確認）

委員長　　資料に不足等なければ、次第に従い、議事を進める。

　　議題１「令和５年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会答申について」、審議する。事務局より説明をお願いする。

（事務局より資料に基づき概要説明）

委員長　それでは、議論を進めていく。まず、「令和５年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会答申について」の部分について、順次意見を伺う。

惣川委員　分かりやすくまとめられており、マイナス意見は特にない。

氏家委員　私の意見も取り上げていただき感謝する。まとまっており、分かりやすくなっていると思う。

副委員長　非常に丁寧で、分かりやすくまとめていただき感謝する。

委員長　各委員の意見も取り上げながら、事務局内で丁寧に最終調整されたものであるため、答申案については最終的には事務局と私に一任願いたいが、どうか。

＜了承＞

委員長　それでは、議題１はこれで終了する。本日いただいた意見を踏まえ、私と事務局で文言調整を行い、この審査委員会からの答申書としたい。今年度はこれで最後となるが、最後に、委員としての感想・意見等を伺いたい。

惣川委員　第３回までの議事録を改めて見返し、自分が同席していたことが実感できないくらい深い話をしていたと感じ、未来の子どもたちのためと考えると、非常に意義深いものになったと思う。この会議を通して、子どもたちの未来は大人に責任があると改めて感じた。

氏家委員　ここ数年で知らない用語が非常に増え、時代の流れの速さを感じている。新しいことを次々と行わなければならない中で、時間が無い、人がいない、と学校現場が混乱していないか、いつも心配している。

子どもたちは大人が決めたことに沿っていくので、学校や教員だけでなく、地域や社会全体で大人がしっかりと子どもたちのことを考えていかなければいけないということを、非常に感じる会議であった。

副委員長　　学校や社会教育現場の立場からの視点を共有することができ、大変勉強になった。特に、情報教育と特別支援教育は、ここ数年で課題として大きくなってきた分野だと思うので、教員がこの課題を受けとめて対処していくのに、非常に頑張っておられるだろうと感じた。

そして、学校もいろいろ頑張っておられるし、教育委員会も、さらにその学校をサポートするということで、大変努力されているということがわかった。各学校とのコミュニケーションやサポートなど、資料に書かれていること以外にも、非常に大きなエネルギーを使っておられると思う。学校と教育委員会との良好な関係をさらに前進させていただきたい。

委員長　　教育委員会の所掌事務も、多様化・細分化し、非常に専門的になっているので、教育行政も多難な時代になっているのではと感じた。

私が教育委員会にいた時代から比べても、当時使用していなかった用語が増えており、用語が増えるということは、それだけ思考しなければいけないことも増えるため、それを子どもの教育に直接つなげる方々は、非常に大変になっていると思う。

そのためにも今回のように、目標設定をして評価をする、課題を明確にして次に繋げるという取組を今後も進めていただきたい。

委員長　　これで令和５年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会を終了する。